

株式会社 太鼓センター

会社概要

- ・所在地 京都府京都市
- ・業種 和太鼓教室
- ・資本金 5279万円
- ・設立 1988年2月
- ・従業員数 44人
- ・URL <http://www.taiko-center.co.jp/>

1 和太鼓教室、台湾へ

日本の伝統芸能として知られる和太鼓は、その力強く、躍動感溢れる響きで、日本人のみならず、海外の人々をも魅了している。また、和太鼓は、腕だけでなく、腹筋や腰を使って全身で叩く有酸素運動で、健康づくりに役立つ。近畿と首都圏を中心に和太鼓教室「TAIKO-LAB」を運営する同社は、日本公庫の「海外展開資金」融資を受け、2012年12月、健康志向の高まる台湾の台北市に海外第1号となる教室を開設した。



台湾教室の練習風景

2 会員増加を支える運営ノウハウ

台湾教室は国内の教室と同様に、レベルに応じて複数のコースを用意している。開設当初の会員数は約40人で、2013年中にはこの会員数を5倍の200人程度にする計画であるという。この強気にも見える計画に対する自信は、国内教室での実績に裏付けられている。

国内の「TAIKO-LAB」会員数は、京都の烏丸御池に「御池太鼓練習場」をオープンした2002年には200人であった。2004年以降、京都の本社ビルや大阪、東京に次々と教室を開設し、FC（フランチャイズ）事業を開始した2011年には3,500人を突破した。その後も拡大を続け、2013年6月時点で会員数は5,000人超、教室は直営が12カ所、フランチャイズが17契約（オープンが11カ所、オープン準備が6カ所）となっている。

短期間での会員増加を実現した同社だが、国内で蓄積された和太鼓教室の運営ノウハウは台湾教室でも応用が可能であ

ると考えられる。

「TAIKO-LAB」のレッスンスケジュールでは、半年の練習の後、演奏用のホールを会場としてチーム毎に発表会を行う。この発表会を目標とすることで、会員同士が仲間となり、技術向上へのモチベーションを高める仕組みとなっている。台湾教室でも発表会やイベントを積極的に開催し、レッスンの内容を充実させていく予定だ。

また、同社の講師は約100時間をかけて研修・養成されており、会員を楽しませながら太鼓の技術を教えるスキルを習得している。当面は台湾教室に日本から講師を派遣し、国内で培った質の高いサービスを提供していく。

和太鼓の音色を仲間と楽しみながら、健康的にダイエットができて、ストレス発散にもなる。これこそが他の和太鼓教室にはない同社の特色である。



発表会の様子

3 強烈な情熱を原動力に

同社は今回の台湾への進出を足がかりに、将来的には中国やアメリカへの展開も検討していくという。

和太鼓というと、筋骨隆々としたプロの男性が叩いているイメージがあるかもしれないが、「TAIKO-LAB」の会員は約8割を女性が占めており、初心者も多い。和太鼓の魅力は初心者でも楽しめる爽快感にあるのだ。

同社の創業者である、東京謙社長（64歳）も和太鼓に魅了された一人だ。東社長は、「太鼓は、日本人のアイデンティティだと思います。太鼓を通じて、集中力を身につけ、本物の文化を知って欲しい。その思いこそが、この事業のパワーの源なんです」と語っている。

日本の伝統芸能を海外に発信する同社の事業はまさに「クール・ジャパン」を推進するものであるといえる。「クール・ジャパン」で成功していくには、日本のサービスをそのまま海外に適用するのではなく、現地のニーズに合わせた形で提供することが鍵となる。台湾教室は同社の現地化戦略を探る試金石の役割をもつ。

同社の挑戦はまだ始まったばかりだ。しかしながら、強烈な情熱が原動力としてある限り、世界中の空に和太鼓の音色が威勢良く響き渡る日がきっと訪れるに違いない。